

# 夏秋トマトの土壌病害に対する診断技術と防除技術の確立

- 実施期間：令和4～6年度
- 担当部署：病理昆虫部
- 区分：重点研究・県単

## ○研究内容

土壌伝染性のトマト青枯病は、発生すれば収穫量の大幅な減少など被害は甚大なものとなるため、効果的な防除法の確立が求められています。

これまでの研究で、ダゾメット粉粒剤を土壌混和後湛水処理することで、土壌深層に存在するトマト青枯病菌を殺菌できることが確認できましたが、圃場によっては、十分な防除効果が得られないことがあり、効果的な防除方法の組み合わせが必要となります。

そこで、夏秋トマト作型を対象に、①発病リスクを事前に把握し防除対策をとれるよう、土壌pH等の土質改善基準の他、土壌中のトマト青枯病菌密度を生産現場で定性診断できる技術の開発を行うとともに、②ダゾメット粉粒剤湛水処理等の土壌消毒後、その消毒効果を維持できるよう、台木利用等の既存技術の他、雨水対策の重要性評価や新規技術を検証し、対策マニュアルを作成します。

## 開発する技術

### ①発病リスク基準・トマト青枯細菌密度の簡易定性診断方法



市販のイムノストリップを活用した現地指導者が簡易に診断できる技術

### ②ダゾメット粉粒剤による湛水土壌消毒方法に加え 既存技術、新規技術の組み合わせによる消毒方法の実証



- ・ 抵抗性台木
- ・ 雨水対策
- ・ 土壌pH矯正



土質、栽培環境に応じた組み合わせ選択



過去発病履歴や土質等に応じた岐阜県版夏秋トマトの土壌病害対策マニュアルの作成